

## 【 日本国内導入事例 】

映像メディア編集向けNASストレージ  
民間放送局企業様 導入事例

協力会社/加賀ソルネット株式会社様

### 要求されるシステム課題：

顧客企業で導入するメディア編集システム向けストレージの要求条件としてProRes422コーデックでIngest5回線収録、編集5端末再生を同時に実行可能であり、且つ2台のエンコード機器によるエンコード処理を同時処理可能なパフォーマンス性能が求められていました。

既存メディア編集システムでは、ファイルアクセス権管理はApple Open Directoryにより運用されていましたが、システムの運用管理を容易化するためにストレージ共有フォルダに対して共有プロトコル毎にアクセス権管理を設定することができ、システム運用中のアクセス権変更も容易に行えるストレージシステムの導入が望まれていました。

### ソリューション：

- 既存スケールアウト型ストレージからGS 3024R+JB 3016Rにより構成されるNASストレージシステムへ移行
- GS 3024R+JB 3016RからフォルダRsyncにより特定のフォルダを同時にバックアップするためにGS 3012Sを導入
- ストレージ/イーサネットスイッチ間は10GbEインタフェースで接続し高速スループットを実現し、クライアント/イーサネットスイッチ間は1GbEインタフェース経由で多数のクライアント端末を接続

### GSストレージ導入による効果：

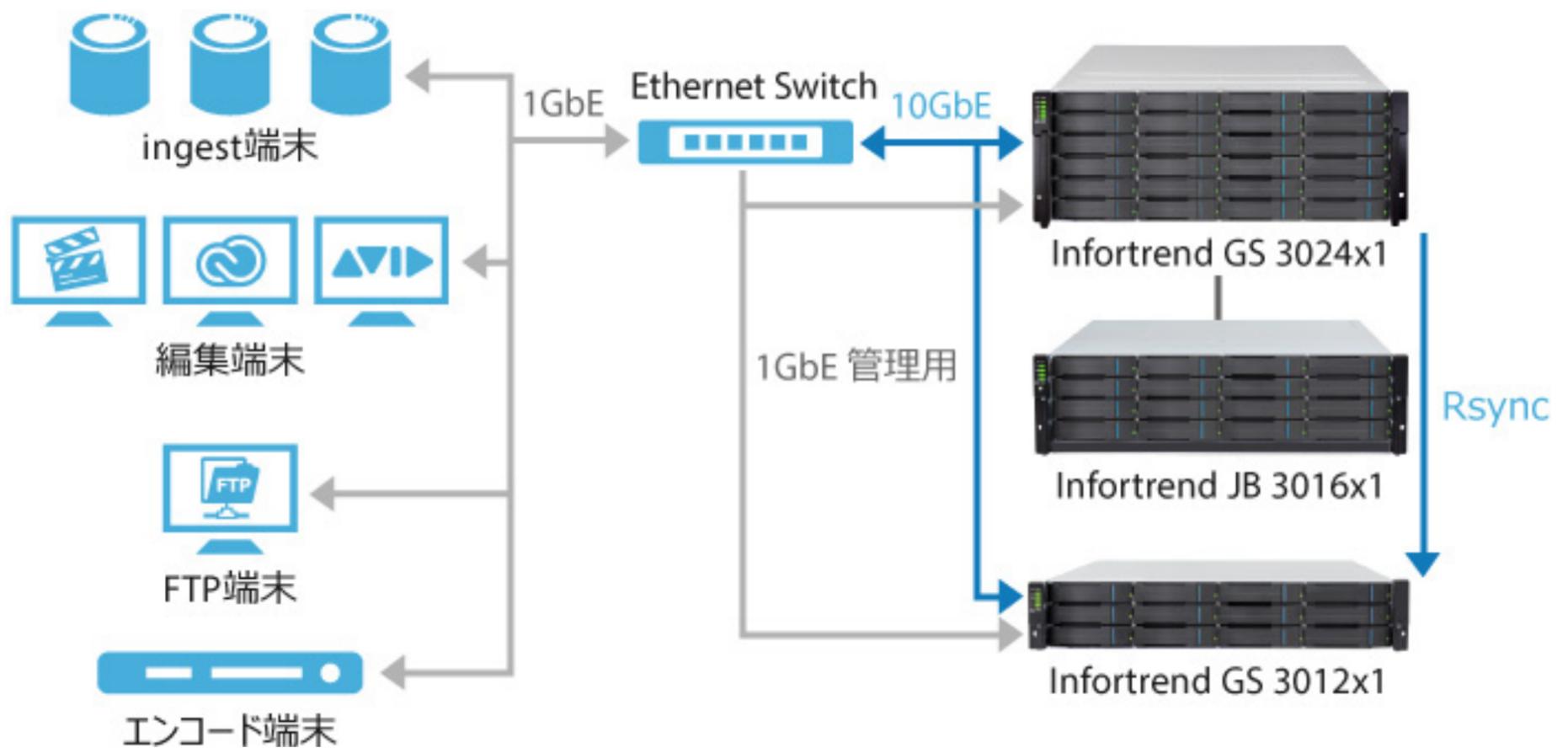
既存スケールアウト型ストレージからGSシリーズNASストレージへ移行することによりシステム導入コストを抑えることが出来ました。

また、大容量ディスクの導入によりシステム集積率が向上し、限られたスペース内でのシステム設置が

可能となり、既存システムからのオンラインによるデータ移行を実施することができました。

映像メディア編集用の共有ストレージシステムはストレージに対する負荷も高く、従来までは高価なスケールアウト型ストレージを提案する傾向にありましたが、今回のGSシリーズNASストレージの受注、導入により、今まで共有ストレージを諦めていたお客様へご提案可能なストレージシステムとなるのではないかと感じています。

## システム構成 :



お問い合わせ